



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban



25 夏休みパチパチ競技会

8月8日(木)、高見教室にて夏休み競技会を開催、当日は朝から暑い日でしたが36名の生徒が参加しました(事情により当日は参加できず後日、個別に実施する生徒は6名)。

大会の前半は「豊川あんざん大会」、種目はかけ暗算(3分間)・わり暗算(3分間)・みとり暗算(4分間)の3つで1000点満点。各種目とも50問ずつ出題され、大体の目安として1番~15番は検定5級レベル、このあと25番までは4級レベル、35番までは3級レベル、40番までは1級レベル、41番以降は段位レベル...で構成されており、制限時間内にすべての問題の答えを記入することは至難の業、というかほぼ全員が出来ません。

競技中はなんといっても集中力がとにかく重要。まわりのことが一切気にならないほど、目の前のことに集中している状態のことをよく「ゾーン」といったりしますが、いわゆる「ゾーンに入る」と自分のパフォーマンス力が最大に引き出され、意図せずものすごい成果を生み出せることがあります。もちろん、誰でも簡単にゾーンに入れるわけではなく、普段から本番モードで繰り返し練習し、一定レベルまで自信をもてる状態にすることが必要。各級の検定試験では体験できない競技会ならではの独自ルールや大会の雰囲気を体感しながら本番に臨んでいきます。

競技大会である以上、参加者のなかでの順位は付けられますが、毎回お伝えしている通り、かりに上位にランキングしなくても、過去の自分よりも少しでも点数が上回っていれば、それだけで金賞と同じ価値があります。競技会当日までに3~4回練習を重ねてきましたが、それよりも大会本番が最高点だったという生徒がビックリすることに10人ちかくいましたが、みなさん、本当によく頑張りました~!自分で自分に金メダルをあげてください。

豊川あんざん大会全体の入賞者は9月に発表され、入賞者には豊川珠算教育連盟(豊珠連)から賞状とカップが授与される予定。また、9月下旬には豊珠連から競技会参加者みんなに参加賞もプレゼント。入賞できそうな人も、チョッと無理そうなのひと、みんなお楽しみに!

つぎの競技大会は12月7日に豊川そろばん大会を実施する予定。本番までの間、確実に実力をアップしていきましょう!

豊川あんざん大会 上位成績者

学年	人数	順位	名前	得点
4年生	19人	1位	吉田 花風	740
		2位	種井 蒼汰	650
		3位	陶山 嘉良	645
5年生	9人	1位	北國 美怜	685
		2位	山本 真子	620
6年生	9人	1位	鈴木 桃寧	885
		2位	影山 琴	730
		3位	小林 美緒	725
中学生	5人	1位	伊藤 彩羽	905
		2位	池田 充希	740